Arduino Bluetoothシールド/ Arduino Bluetoothライブラリ/ Android Bluetoothライブラリ 説明書

Arduino Bluetoothシールド

使用Bluetoothモジュール:FB155BC

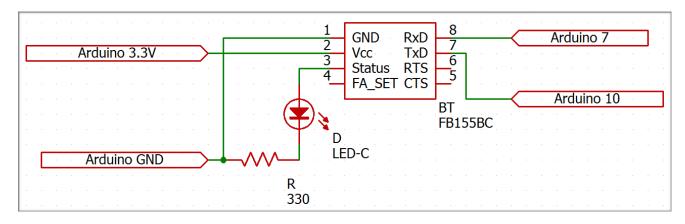


図1回路図

Arduino Bluetoothライブラリをそのまま使用するのであれば、図1の通りのピン配置で設計、制作する。ライブラリを改変する、または使用しないのであれば、ピン配置は適当に変えることもできる。

Arduino Bluetoothライブラリ

利用方法

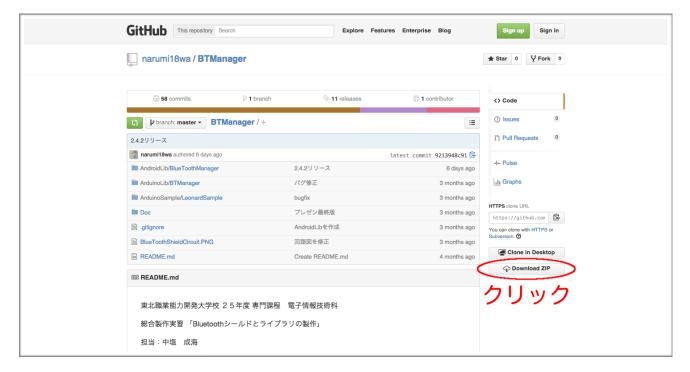


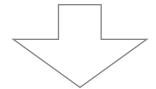
図2全てダウンロード

図2に従い、全てのファイルをZIPでダウンロードします。



図3展開してください

図3のようにわかり易い場所に展開してください。



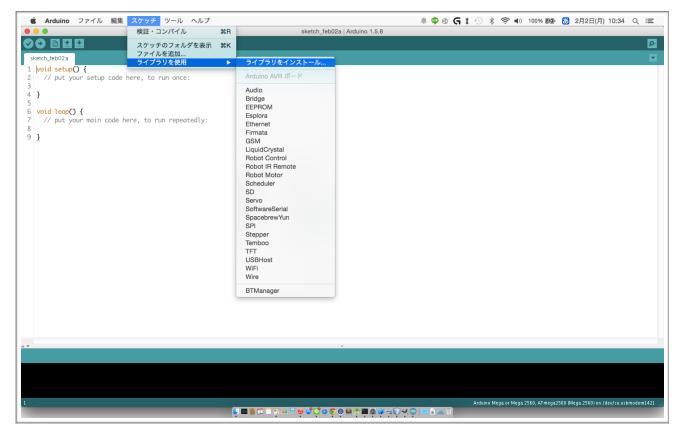
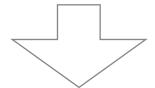


図4ライブラリをインストールをクリック

図4のように、ArduinolDEを起動し、ツールバーからライブラリをインストール…をクリックしてください。



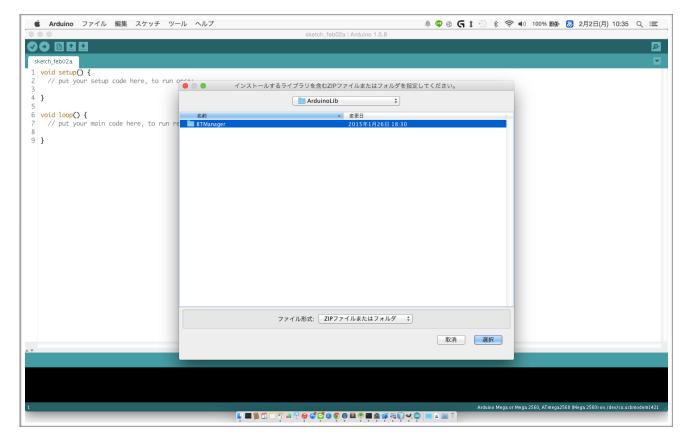


図5BTManagerを開く

図5のように展開したファイルの中の(展開したフォルダ)/BTManager-master/ArduinoLib/BTManagerを開く

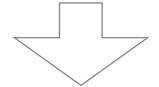




図6必要最低限のコード

図6を参考にBTManagerを動くように設定する。loop内の実装は例であって、好きに実装して良い。

仕様

Sketchからアクセスできるメソッドは以下の通りの仕様となっている

BTManager(String btName, String btPassWord);

コンストラクタ。btNameは"他の端末から見える名前"、btPassWordは"パスワード"をそれぞれ設定できる。

void init();

Bluetoothモジュールをコンストラクタの設定で初期化する。

String readMessage();

Bluetoothモジュールに送信されているメッセージを読む。

void writeMessage(String message);

Bluetoothモジュールからメッセージを送信する。

Android Bluetoothライブラリ 利用方法

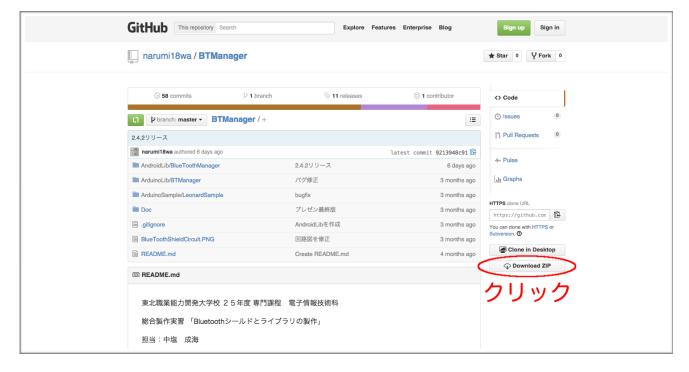


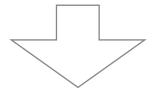
図7全てダウンロード

図7に従い、全てのファイルをZIPでダウンロードします。



図8展開してください

図8のようにわかり易い場所に展開してください。



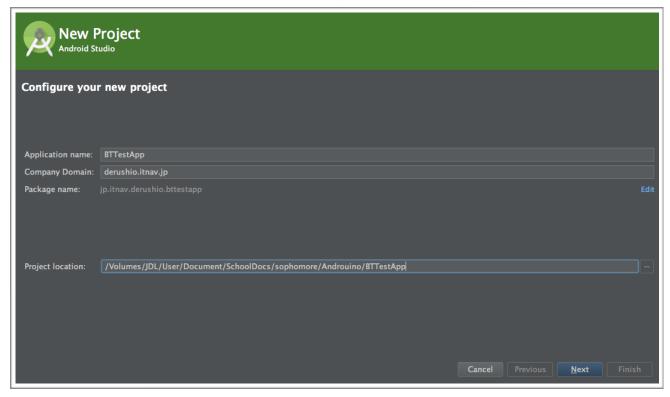
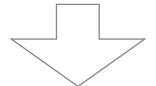


図9プロジェクトを作成してください あなたの作りたいプロジェクトを作成してください。まず、テスト用のプロ ジェクトを作成しても良いかもしれません。



```
| Standard | Standard
```

図10フォルダツリーを表示

フォルダツリーを表示させるために、左下のメニュー(\Box マーク)から Projectを選び、プルダウンメニューから、Projectを選択します。すでに Projectになっている場合はそのままで大丈夫です。

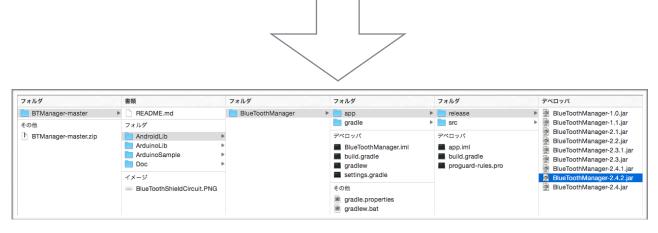
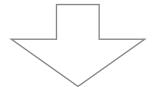


図11jarファイルをコピー

図5のように展開したファイルの中の(展開したフォルダ)/BTManager-master/AndroidLib/BlueToothManager/app/release/BlueToothManager-2.4.2.jar(最新版)をコピーしてください。



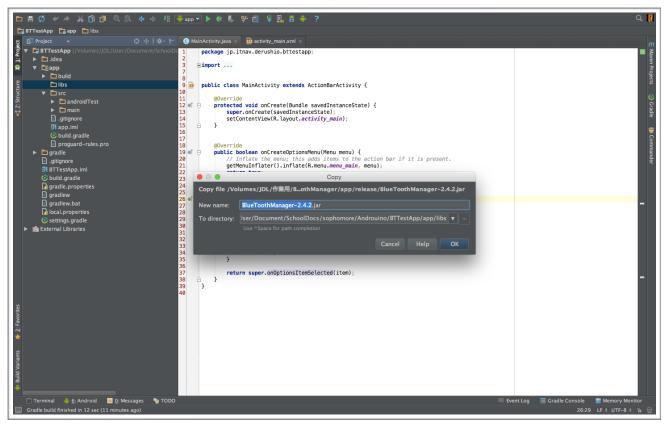
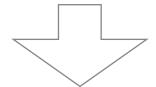


図12ペーストしましょう

Android Studioの左下メニュー → ProjectからProject内のlibフォルダ(図 1 2 参照)を選択し、"Ctrl + v"でペーストしましょう。



```
| Carticology |
```

図13リビルドしよう

図13のようにクロームと↓が組み合わさったようなアイコンをクリックしてリビルドしましょう。

以上でライブラリを使う準備は整いました。しかし、実装方法については慣れていなければわからない部分が多いでしょう。そこで、サンプルプログラム(BluetoothManagerSample)をzip内に入れておいたので、それを参考にしながら実装していきましょう。

MainActivity.java(何かにコピーして見ることを推奨)

```
private LinearLayout paredDeviceList;
//ベアリングしたBluetoothDeviceを表示するLinearLayout
private TextView textViewReadMessage;
// 受傷したメッセージを表示するTextView
private EditText editTextWriteMessage;
// 送信するメッセージを設定するEditText
 private TimerHandler timerHandler; private boolean isTimerHandlerStarted = false; // 94\overline{\forall}-
 @Override protected void onCreate(Bundle savedinstanceState) { super.onCreate(savedinstanceState); setContentView(R.layout.activity_main);
                                  paredDeviceList = (LinearLayout) findViewByld(R.id.paredDeviceList):
textViewReadMessage = (TextView) findViewByld(R.id.textViewReadMee
editTextWirteMessage = (EditText) findViewByld(R.id.editTextWirteMess
// 细菌含化去硼化 受教名网络时分
                             }
// 画面が止まった時にタイマーもストップ
}
// 画面が始まった時にタイマーをスタート
                                  onsitemSelected(Menuittem item) {
// Handle action bar item clicks here. The action bar will
// automatically handle clicks on the Home/Up button, so long
// as you specify a parent activity in AndroidManifest.xml.
int id = item.gettlemId();
                                  //noinspection SimplifiableIfStatement if (id == R.id.action_settings) { return true;
                                  return super.onOptionsItemSelected(item);
public void writeMessage(View v) {
editTextWriteMessage.clearFocus():
writeMessage.cleftTextWriteMessage.getText().toString():
//メッセージを透信する
@Override
public void handleMessage(Message msg) {
    super-handleMessage(msg);
}
                                                                                                      D) {
textViewReadMessage.setText("返信:" + readMessage).get(0));
//メッセージを受賞する。
//メッセージはArrayListの受債時間順に帰ってくるので、.get(0)で最新データが取れる。
                                   public void timerStart(long delayMilliSec) {
    this.delayMilliSec = delayMilliSec;
    isTick = true;
    sleep0;
                                   // リスタート用のOverLoad
```

上記コードで継承している自作クラス

BluetoothManagedActivity要点

- protected void onCreate(android.os.Bundle savedInstanceState);
 - · Bluetoothとタイマーを初期化します
- protected void onResume();
 - Bluetoothデバイスと接続しなおします
- protected void onPause();
 - Bluetoothデバイスと一旦切断します
- protected Set<BluetoothDevice> getParedDevices();
 - ・ペアリングされているBluetoothデバイス郡を取得します
- protected void setTargetDevice(BluetoothDevice targetDevice);
 - 接続するBluetoothデバイスをターゲットします
- protected BluetoothDevice getTargetDevice();
 - ターゲットされているBluetoothデバイスを取得します
- protected boolean isDeviceConnected();
 - · Bluetoothデバイスに今つながっているか取得します
- protected void connectDevice();
 - Bluetoothデバイスに接続します
- protected void disConnectDevices();
 - Bluetoothデバイスから切断します
- protected void readMessageStart(long delayMilliSec);
 - delayMilliSecの秒数ごとにBluetoothからメッセージを受信し、 メールボックスに蓄積します。
- protected void readMessageStop();
 - · Bluetoothからメッセージを受信することを取りやめます

- protected void writeMessage(String message);
 - · Bluetoothからメッセージを送信します
- protected ArrayList<String> readMessage();
 - readMessageStart(long delayMilliSec)で蓄積されているメールボックスを取得します。0が一番新しく、100件まで蓄積されます。
- protected void setOnConnect(Handler onConnect);
 - ・接続時のハンドラを設定します。
 - ・ message.whatについて
 - 0は成功
 - ・-1はSocketが見つからない
 - · -2はBluetoothデバイスが見つからない
 - ・ -3はそんなデバイスとペアリングしていない
- protected void setOnDisConnect(Handler onDisConnect);
 - ・ 切断時のハンドラを設定します
 - ・ message.whatについて
 - 0は成功
 - ・-1はBluetoothデバイスが見つからない